

写真にスマホをかざしてみよう!

AR

佐賀県でのロケの様子や、タイの観光客に人気の祐徳稲荷神社を紹介します。

※動画再生中に画面をタップすると、フルスクリーンで再生します



※動画を再生するには、専用アプリが必要です。詳しくは、表紙下部をご覧ください

YouTubeでも動画が観れます
YouTubeアカウント
SagaKenminDayori

唐津駅(唐津市)



STAY

Time line

映画「タイムライン」の
ونسラー監督(右)と
主演のジャリンボンさん(左)

呼子朝市通り(呼子町)



唐津くんち(唐津市)



唐津の名物
「からつバーガー」にも
大満足!



大川内山(伊万里市)



ドラマ「ステイ」の
ソノヨット監督は、
河川敷の風景を眺めて
「ビューティフル」と何度も
言っていたそう



嬉野温泉(嬉野市)



嘉瀬川河川敷(佐賀市)

波戸岬(唐津市)

特集

物語を彩る、ふるさとの景色



佐賀県を舞台に製作されたタイ映画「タイムライン」(2014年)。この映画はタイで大ヒットし、映画を見たたくさんのタイ人観光客が県内のロケ地を訪れています。海外から見た「佐賀県」はどう映っているのでしょうか。この映画を誘致した佐賀県フィルムコミッション(以下SFC)に話を聞きました。



取材協力 /
佐賀県フィルムコミッション
近野 顕次 さん

「私たちは映画やドラマといった映像を通して佐賀県の魅力や情報を発信するため、映画製作会社などに佐賀県の良さをPRしロケを誘致しています。近年は、国外にも活動の幅を広げていて、そこでタイの映画監督協会の会長であったونسラー監督に佐賀県の景色をとっても気に入ってもらい、映画『タイムライン』の誘致が実現しました。この映画はタイで2014年の映画興行成績5位となり、反響が大きかったです。この映画の印象的なラストシーンでは大川内山や唐津くんちが登場しますよ。」

そう教えてくれたのはSFCの近野さん。昨年SFCはタイ映画の誘致、さらにはタイ観光客の呼び込みに繋がったことが評価され、「第1回JFCアワード」で最優秀賞を受賞しました。

「映画の評判をきっかけに、タイドラマ『ステイ』の誘致も実現することができました。このドラマはタイ国内で撮影予定だったんですが、ドラマの監督に佐賀県の風景を見せると、これこそが小さい頃に映画やドラマで見た日本の原風景だ、と惚れ込んでくれて。特に嘉瀬川の河川敷の風景を「美しい!」と気に入ってくれました。」

撮影のほとんどが佐賀県内で行われたという『ステイ』。三瀬の農家民宿や呼子の朝市、波戸岬、武雄・

嬉野温泉など、佐賀の景色が物語を彩り、このドラマもまたタイの若者に大変人気を得た作品になったとか。

「監督たちは東京や大阪ではない、まだタイ人が知らない日本を撮影することにやりがいを感じていましたね。私たちにとって見慣れた風景でも、タイの人たちは感慨深げにほめてくれます。海外の人が魅力的に感じるように「佐賀は素敵な場所なんだ」ということを県民のみなさんに伝えていきたいです。」と近野さん。最近ではタイの映画やドラマをきっかけに、ロケ地のひとつである祐徳稲荷神社にも多くのタイ人観光客が訪れているそうです。

タイでどんどん知名度が上がっている佐賀県。私たちの日常の風景も、海外の映像作品を通して見ることで、改めてその魅力を再発見するのではないのでしょうか。

佐賀県フィルムコミッション 0952(2)7296

タイの観光客にインタビュー!

タイ語のおみくじもあるよ!

ドラマをみて佐賀のことを知りました。実際に来てみると、とても美しいですね! 絵馬には健康への願いを書きました。他にも県内の観光地をいろいろと巡ってみようと思います!



TOPICS タイからの宿泊観光客数が急増中です!

観光庁が発表した平成27年のタイ人宿泊観光客数によると、佐賀県の伸び率は前年比142%を記録しました。(H27年9月までの実績)今後もますます注目です!

※第1回JFCアワード 映像作品の活用による地域活性化や映像文化・産業の振興に貢献したフィルムコミッションを表彰。佐賀県フィルムコミッションと「タイムライン」は、全国に100以上あるフィルムコミッションの中で最優秀賞に輝いた。